

いのちの言の葉2012

富山県教育委員会平成24年度いのちの教育総合支援事業

「やさしさはあなたの心の中に」

射水市立奈古中学校

平成24年6月6日実施

【いのちの先生】

木谷 泰子先生

・木谷総合学園副学園長



木谷先生が作ってくださったピンク色の冊子には、とてもいろいろなことが書いてありました。いじめで苦しんで自殺してしまった〇〇さんの話や、いじめから立ち直った方、そして、自分を磨くためにできることなどが書いてありました。私はまだ12歳だからこれからいろいろな人と出会っていくと思います。死ぬ前にふり返って、私にとって嫌な思い出だけしかなかったら悲しいから、いろいろな人に、私がされたらうれしいと思えることをしていきたいです。そして悔いがないように、したいことを思いっきりやっていきたいです。



ぼくが、先生の話聞いて思ったことは「笑顔」という言葉です。いつも笑顔でいれば友達ができる。また、笑顔でいれば人から大切にされる。ぼくは、これまでをふり返ってみると、あまり笑顔ができていなかったと思います。もう一つ心に残ったことは、「優しく」することです。優しくすればするほど、自分に結果がついてくる。ふだんから「優しく、親切」を大切にしていきたいです。先生の言われたように、今からスタート、今からやり直せばできるかもしれない。いつも「笑顔」で「優しく」を大切に、日々の生活で夢をもって生きていきたいです。

今日は、命の授業をしていただきありがとうございました。木谷先生と一緒に「ふるさと」など歌を歌っていたらとても楽しく、自然に笑顔になりました。一番心に残ったことは、木谷先生のお母さんのお話です。私にもおばあちゃん、おじいちゃんがあります。今まで少しきつい言葉を使っていたかもしれないので、これからは優しい言葉でいろいろな話をしていきたいです。これからは毎日笑顔で中学校生活を楽しんでいきたいです。

